World Karate Federation
General Secretary Office

Newsletter

Vol.114
16th,September 2026

Guardian Girls Karate オーストラリアで大きく前進

NSW州議会で活動を評価

― Brisbane 2032に向け空手の社会的価値を発信

Guardian Girls Karate（GGK）が世界各地で着実な広がりを見せています。中でも、その活動を大きく発展させ世界を先導しているのがオーストラリアです。



オーストラリアでは2025年7月の本格始動以来、わずか１年の間に学校、大学、地域社会、職場などへ活動の場を広げ、これまでに20以上のイベントを開催し50名を超える女性インストラクターが認定されるなどGGKの活動は急速な発展を遂げています。

こうした取り組みが評価され、このほどGuardian Girls Karate Australiaがニューサウスウェールズ（NSW）州議会において正式に取り上げられました。
Gosford選出のLiesl Tesch州議会議員は、地域社会への貢献を称える公式声明（Community Recognition Statement）の中で、GGKが女性や少女に自信や意識向上、護身のための実践的なスキルを提供し、より安全で力強い地域社会づくりに貢献していることを高く評価しました。

今回の州議会での評価は、GGKの発展のみならず、**空手が競技スポーツとしてだけではなく社会が抱える課題の解決に貢献できるスポーツであることを示すもの**としても大きな意味を持っています。
Brisbane 2032の競技プログラムをめぐる協議が重要な局面を迎える中、開催国オーストラリアにおいて空手を活用した社会貢献活動が地域社会に広がり、その価値が州議会という公的な場で認められたことは空手のオリンピック復帰を目指す上でも意義深い動きといえます。





世界空手連盟　事務総長
奈蔵稔久　奈蔵稔久

連絡先　nag@wkf-gs.com
090-1105-1457